



## － 特集 －

- 1 頁：「第3期石川の教育振興基本計画について」 石川県教育委員会教育次長兼教員確保・指導力向上推進室長 塩田 憲司氏  
2・3頁：「GIGAスクール構想の実現に向けた県教員総合研修センターの取組～教員のICT活用指導力向上に向けて～」  
石川県教員総合研修センター GIGAスクールサポート課長 北 康典氏  
4・5頁：インタビュー 「人」 ピアニスト 竹田理琴乃氏

## 「第3期石川の教育振興基本計画について」

石川県教育委員会教育次長兼教員確保・指導力向上推進室長 塩田 憲司



本県では、平成23年に教育の総合的な指針である「石川の教育振興基本計画」、平成28年には「第2期石川の教育振興基本計画」を策定し、基本理念である「未来を拓く心豊かな人づくり」の具現化に向けて、様々な取組を進めてまいりました。

しかし、近年、グローバル化の進展やAI、IoTなどの先端技術の高度

化など、社会が大きく変化し、さらに、依然として続く新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの生活のみならず、社会、経済など多方面に大きな影響を及ぼしています。

そして、教育の現場においても、GIGAスクール構想の実現や特別な教育的支援を必要とする児童生徒の増加、教員の急激な世代交代、教職員の多忙化など様々な課題が生じています。

本県では、こうした社会情勢の変化や教育をめぐる新たな課題に対応していくため、計画内容を見直し、令和3年3月に「第3期石川の教育振興基本計画」を策定いたしました。

本計画は、基本理念である「未来を拓く心豊かな人づくり」をはじめ、これまでの基本的な考え方を継承しつつ、第2期計画策定以降の状況の変化を踏まえ、本県教育の目指す姿と施策の方向性について示しており、県政運営の長期的かつ総合的な基本指針である「石川県長期構想」における教育に関する分野としての性格を有しております。

これより、本計画に新たに盛り込んだ項目のうち、主な6つについてポイントを説明いたします。

まず「GIGAスクール構想の実現による学びの質の向上」では、全ての教員がICTを効果的に活用して指導できるようにするため、特に校内研修の充実を図っていくこととしており、学校トップの意識改革を図るための管理職を対象とした研修や各学校での校内研修を企画・実行する推進リーダーへの研修を行うこと、また、県教員総合研修センターに「GIGAスクールサポート課」を新設し、指導主事が学校へ出向く出前型の研修を実施するなど、各学校をしっかりとバックアップすることとしております。

「特別支援教育の充実」では、令和7年度を目途にいしかわ特別支援学校（知的障害教育部門）高等部の新校舎を金沢向陽高等学校の敷地内に建設し、校舎移転後は、日常的に両校の生徒同士の交流を図るインクルーシブ教育の展開を目指すこと、また、明和特別支援学校（知的障害教育部門）については、現在の通学エリアの一部をいしかわ特別支援学校の通学エリアに変更することにより、両校の教育環境の向上を図ることとしております。

次に「新型コロナウイルス感染症と共生していく学校運営」では、児童生徒が新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、感染リスクを自ら判断し、これを避ける行動ができるよう指導するとともに、感染者、濃厚接触者、医療従事者等に対する偏見や差別は許されないという指導の徹底を図っていくこととしております。また、学校のトイレの洋式化や手洗いの自動水栓化といった衛生環境の整備を計画的に進めていくことが盛り込まれています。

「キャリアステージに応じた『いしかわ型教員研修体制』の充実」では、教員の急激な世代交代が進む中、県教員総合研修センターといしかわ師範塾が連携し、採用前の学生から現職教員、退職後の再任用教員まで、教員のキャリアステージに応じた質の高い研修の充実を図っていくこととしております。

「教職員の多忙化改善の推進」では、平成30年3月に策定した「教職員の多忙化改善に向けた取組方針」に盛り込まれている取組について、教育委員会や学校現場等の関係者が出来る限り足並みを揃えて一つ一つ着実に進めるとともに、国に対して定数改善計画の策定を要望していくこととしております。

最後に「石川の新たな『知の殿堂』としての県立図書館の整備」では、主な取組として「多様な知に出会う場の創出」「文化活動・交流の場の提供」「石川らしさの継承・創造・発信」「県民の知的創造活動の支援」の4つを挙げ、県民の文化的な活動・交流の舞台となるよう令和4年度前半の開館に向けて整備を進めていくこととしております。

今後は、本計画の着実な実現に向け、様々な取組を推進し、石川の教育力の更なる向上に取り組んでまいりたいと考えておりますので、県民の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

# 「GIGAスクール構想の実現に向けた県教員総合研修センターの取組 ～教員のICT活用指導力向上に向けて～」

石川県教員総合研修センター GIGAスクールサポート課長 北 康典



## ＜はじめに＞

児童生徒が使用する1人1台端末及び高速大容量ネットワークを一体的に整備する「GIGAスクール構想」が、新型コロナウイルス感染症の流行と新たな生活様式への対応を受けて前倒しされました。これにより、本県においては、令和2年度中に、全ての公立小中学校、義務教育学校、特別支援学校（小・中学部）で1人1台端末が、県立高等学校及び特別支援学校（高等部）では、3クラスに1クラス分の割合で端末が整備され、高速大容量のネットワーク環境がほぼ整備されました。文部科学省が教育のICT化に向けた環境整備について、当初は、5カ年計画での実現を目指していたことを考えると、子供たちを取り巻く環境はこの一年間で目まぐるしく変化した感があります。

このような中、子供たちが端末を思考表現のツールとして活用し「主体的・対話的で深い学び」の実現を図っていくためには、教師のICT活用に関わる指導力の向上が不可欠です。そこで、県教員総合研修センターでは、本年度GIGAスクールサポート課を新設し、教員のICT活用指導力の向上に向け、研修の充実に努めています。



## ＜GIGAスクール対応研修＞

当センターでは、教員のICT活用指導力を高めるためには、日々の授業実践の積み重ねとその共有による校内研修を各校で計画的に実施していくことが大切だと考え、前年度末から「GIGAスクール対応研修」を実施しています。学校にとっても大変慌ただしい年度末から年度初めに大規模な研修を実施したのは、各校に配置された端末を、一日も早く効果的に活用していただきたいという願いからです。

まず、各校がGIGAスクール構想の実現に向け校内体制を整え、新年度早々にスタートダッシュが切れるように、3月下旬に県内の校長を対象に「GIGA校長研修」を実施しました。4月には各校の校内研修がより効果的なものになるよう、「GIGA副校長・教頭・部主事研修」、「GIGA校内研修推進リーダー研修」をそれぞれ実施しました。なお、この3つの研修の講師には、文部科学省のICT活用教育アドバイザーでもある中村学園大学教育学部の山本朋弘教授をお迎えし、各校のGIGAスクール構想を実現するために多くの示唆をいただきました。研修受講者からは、「GIGAスクール構想実現に向けての組織づくりとともに校内組織マネジメントの大切さを実感した。」「校内研修の企画・運営に関する理解が深まった。」などの感想をいただきました。



GIGA校長研修

また授業を受け持つ先生方を対象に、4月当初より「新たな授業づくり研修」をオンデマンド配信で実施しています。研修はICTに関する概論・機器・アプリの使い方（ステージ1）、授業場面ごとの活用例（ステージ2）、教科における授業実践例（ステージ3）の3ステージ構成となっております。4月末時点で5457人がステージ2までの受講を完了しており、大変多くの先生方に受講いただきました。

「新たな授業づくり研修」で使用する動画は、石川県の公立学校全教員がアクセスできるスマートスクールネットの「GIGAスクールライブラリ」に掲載しています。授業実践とICTのベストミックスを目指して当センターの指導主事が作成した1人1台端末を活用した授業実践例動画をはじめ、授業づくりに役立つ動画を校種別・教科別に教員のニーズ



動画ライブラリー掲載動画

に応じて視聴できるよう各種取りそろえています。

### <GIGA出前サポート・電話サポート>

各学校での端末やネットワーク環境の整備を見据え、令和2年度秋より学校のニーズに応じて当センター指導主事が学校などに直接出向き講義・演習を行うことで校内研修を支援する「GIGA出前サポート」を行っています。



GIGA出前サポートリーフレット

令和2年度は端末が導入されていない学校が多く、当センターが所有する端末を活用して出前研修を実施しました。はじめて端末を使用する先生方も多く、最初は戸惑う場面もみられましたが、実際に使ってみることで、使用効果も実感でき、研修が終わるころには、前向きに端末を活用する姿が多く見られました。



河南小学校GIGA出前サポート



直小学校・蛸島小学校  
GIGA出前サポート

このように、実際に端末を操作しながら学ぶ研修は先生方からも好評で、今年度に入ってからも、既に多くの学校から申し込みをいただいています。学校で環境整備がほぼ完了し、いよいよICTを活用した授業実践が始まった今年度は、各教科において、児童生徒が1人1台端末を活用する授業づくりに関するサポートの申し込みが増えています。

GIGAスクール構想とは、単に児童生徒が1台ずつ端末を使えばよいという話ではなく、児童生徒が端末を使うことでどのような目的を達成できるのか、つまり、いかに学びの質を向上させるか、このような視点で端末の活用について考える必要があります。そういう意味では、これまで以上に授業づくりが重要になってくることと思います。授業づくりの出前サポートでは、授業で児童生徒が活用する視点で効果的な端末の使用方法に

ついて講義や演習を行っております。サポート受講者からは「丁寧な対応により、効果的な活用法について理解できました。学びを深化させるために、授業の中で使ってみてみたい機能が増えました。」という感想もいただいております。GIGA出前サポートは、少人数からでも受け付けていますので、是非、教科ごとに端末を活用した授業づくりでの出前サポートを積極的にご活用ください。



高松小学校GIGA出前サポート

さらに先生方のICTを活用した授業づくりや、各校で行われる校内研修の企画・運営等についての困りごとにもすぐに対応できるよう、電話での相談も受け付けております。これまでも多くのご相談をいただきましたが、当センターとしましては、特に校内研修の充実に向け、各学校が設定した目標に到達できるよう電話でのサポートに積極的に応じていきたいと考えております。相談内容によっては、出前サポートの形で、学校に伺いサポートさせていただきますので、何かお悩みのことがあれば、まずは、遠慮なくお電話ください。

### <おわりに>

GIGAスクール構想においては、これまでの教育実践の蓄積と最先端のICTを組み合わせることで、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」を実現し、学習活動の一層の充実を図っていくことが求められています。児童生徒が端末を活用することで、個別最適化された学びと協働的な学びが実現されることにより、自分自身の可能性を認め、多様な人々と協働しながら持続可能な社会の創り手となることが期待されます。是非、保護者の皆様や地域の方々におかれましても、GIGAスクール構想についてご理解いただき、各学校の取組に対し、ご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。県教員総合研修センターにおいても校内研修の充実と先生方の授業づくりを応援するとともに、石川県の子供たちの学びが更に深まるよう努力してまいります。





## たけだ りこの ピアニスト 竹田 理琴乃さん

金沢市生まれ。一才半でピアノに出会い、以来ずっとピアノと一緒に生活を送っている。小学校の頃から全国で活躍し、高等学校卒業後ポーランド国立ショパン音楽大学へ留学、首席で卒業。帰国後も京都市立芸術大学院修士課程を首席で修了するなど学びを深め、ピアノと共に歩み続けている。オーケストラ・アンサンブル金沢、東京交響楽団、ポーランドクラクフ室内管弦楽団などとも共演し、国内外で活躍している若手のピアニストである。

インタビューアール 文教会館 館長 堀田 葉子

### ～ピアノとの出会い～

館長：ピアノと出会ったのはいつ頃ですか？

竹田：一才半くらいの頃です。姉のレッスンに毎週ついて行っていました。実際に習い始めたのは四才くらいです。

館長：ご両親はピアニストになってほしいと願っていたのでしょうか？

竹田：最初の頃はピアノを楽しんで弾けるようになってくれればという気持ちで、深くは考えていなかったようです。先生が毎週のレッスンで沢山褒めてくださり、それが子供ながらにとっても嬉しくて、どんどん人前でピアノを弾くことが好きになっていきました。そんな私を見て、母は密かに「もしかすると?!」と少しは期待していたかもしれませんが。

館長：当然、皆がピアニストになれるわけではないのですが、いつ頃から意識し始めたのでしょうか。

竹田：特にはっきりとした瞬間は無かったように思います。先生に褒められたこと、祖母や家族にお遊び感覚で演奏を聴いてもらったこと、ホールで演奏すると拍手が貰えたこと、練習のご褒美に飴玉が食べられたこと(笑)、色々な「好き」の積み重ねで今日まで続けていくことが出来ました。ピアノと出会った大切な時期に、その楽しさや素晴らしさを優しくご指導くださった恩師の東海林先生に、今も心から感謝しています。

館長：高校や大学などの節目で進む道を考える場面もあったと思いますが、迷いはなかったのですか？

竹田：ピアノを演奏することは私の生活の一部というふうに考えていたので、ピアノを続けるか、続けないかという迷いはありませんでした。

### ～ショパンを追い求めて～

館長：本格的に取り組むにあたり、留学も経験なさったと聞いております。ポーランドへの留学を決められた経緯をお話いただけますか？

竹田：いちばんは、師事したいと思った先生がポーランド在住だったことです。留学する数年前から年に一度、その先生の講習会でレッスンを受ける機会がありました。先生の奏でる音楽や音に憧れて、私も先生のようになりたいと思ったことがきっかけです。また、



私は小さい頃からショパンの曲が大好きで、いちばん慣れ親しんできた作曲家です。ポーランドはショパンの祖国で、そして、先生が教鞭をとられていたショパン音楽大学はショパンが学んでいた歴史ある大学という偶然がたまたま重なって、少し運命を感じました。

館長：竹田さんにとってのショパンの魅力を教えてください。

竹田：旋律の美しさ、儚さなど、ショパンにしかない魅力があると感じています。ショパンのずっと心に寄り添ってくれる曲の持つ雰囲気、物悲しく哀愁を帯びた旋律や和声が、日本人だけではなく世界中の人に愛されているのだと思います。

### ～学び続けること・・・ピアノに魅せられて～

館長：大学、そして帰国して大学院でも学ばれたわけですが、そこまで打ち込むことができるピアノの魅力は何でしょうか。

竹田：ピアノを演奏しているとその曲の持つストーリーに自然と連れて行ってもらえると感じます。そこで感じる様々な表現は無限で、自由で、その全てをピアノで表現できるところにあると思います。また、ピアノはオーケストラの全楽器をカバーする音域と多彩な音色を持っているので、一人でオーケストラが奏でられるところも魅力だと思っています。

館長：演奏会などで弾くピアノはご自分のものではありませんよね。行った先々で出会うピアノを弾きこなすことは大変なご苦労だと思うのですが・・・

竹田：そうなのです。会場のピアノがどのような性格なのかは分からないし、会場の広さやホールの状態などによって全然違ってきます。一つとして同じということはないので、その場ですぐにピアノと仲良くなることが永遠の課題だと思っています。

館長：ホールの状態だけでもそれだけの違いがあるのに、ピアノに慣れるだけでも相当のストレスがあるのでしょね。

竹田：自分のピアノを持っていきたくて思ったことも正直あります(笑)。でも、ホールやピアノによって音



や響き方の違いを感じることも楽しいですし、様々な音に出会えるのはすごく嬉しいことです。

### ～ピアニストとして～

館長：ピアニストとしていちばん苦しいこと、そしていちばん嬉しいことは何でしょうか？

竹田：苦しいことは、練習で自分の納得出来る曲の表現がなかなか見つからず、その糸口を模索している時です。その曲と対峙して深く考えることは私にとって音楽に没頭できる充実した時間であると同時に、孤独を感じる時間でもあります。でも、私たち奏者は聴衆の方々がいる初めて成り立つ職業なので、「良かったよ」「感動しました」「また聴かせてください」という感想を頂けた時はいちばん嬉しいです。この感想のおかげで、練習での孤独感や様々な苦勞が一気に吹き飛び、また頑張ることが出来ています。

館長：聴き手をとっても大切にする竹田さんですが、今のこのコロナ禍、芸術家の方々にとっても大変苦しい時間が続いていると思うのですが。

竹田：世界中で多くのコンサートやコンクールなどが延期もしくは中止になってしまい、沢山の音楽家が大打撃を受けました。私も幾つかのコンサートが延期になりましたが、そんな場合でも、私に出来ることは次のコンサートに向けて自分の演奏を磨くことで、それはどのような状況においても変わりません。ただ、今は厳しい規制の中、対策を講じながらコンサートを企画して演奏する機会を与えてくださる主催者の方々や、大変な中でも聴きにきてくださる聴衆の皆さまに対して、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。本当に有難いということを実感した一年でした。

### ～ポジティブシンキングで「前へ!!」～

館長：竹田さんは昨年来世界三大コンクールの一つであるショパンコンクールに挑戦しておられます。そのコンクールもずいぶん延期になったようですが、今どんな思いでお過ごしですか？

竹田：小さい頃から好きだったショパンについて、より深く向き合う時間が増えたということは純粋に嬉しく感じておりますし、その部分はポジティブに捉えることが出来ました。今回のコンクールは500名以上の応募があり、音源審査、書類審査を経ておよそ160名が次のステージへ進むことになりました。そこに選んで頂けただけでも大変名誉なことなので、このコンクールに挑戦するための準備期間もせっかくだか



ら楽しみたいと思っています。

館長：本当にポジティブですね。苦しいことがあるとマイナスに考えがちなものですが、とことん前向きでいらっしゃるのですね。

竹田：この時々出てくるポジティブさは東海林先生譲りだと勝手に思っています。小さい頃は「楽しんで弾いてきてね!」「大丈夫よ!」などのポジティブな言葉をよく頂いていたので、今でもその言葉が根付いているのかもしれませんが。もちろん弱気な面もあります。本番一週間前あたりからは少しずつ食に興味が無くなったり、なんとなく心がざわざわしたりと、意外とダメージも受けています(笑)。



館長：子供たちがいろんなことにチャレンジしようとしています。コロナ禍においてそれさえも難しい状況にあります。先生譲りだという、ポジティブさを持ち続けるために何かしていることや心がけていることはありますか？

竹田：夢や目標の達成に向けて取り組んでいる時は先や結果が見えず、誰しも不安で大変なことが多いと思います。実際、私もいつもそうです。でもある時、もしかすると壁に直面しながらも何かに挑戦している、今、この限りある時間こそが人生でいちばん輝いて充実している時間ではないかと考えるようになりました。だからと言って、必死に頑張ることを全力で楽しむことは難しいですが……。心の隅に少しでも楽しむ気持ちを持つだけで見えてくる景色がきっと変わっていくはずなので、楽しむ心を忘れずに、そして自分自身を信じる気持ちを大切にすることを心がけています。

館長：今後はどのようなピアニストを目指そうと思っていますか。抱負を教えてください。

竹田：今後もまだしばらくはコンクールにも挑戦したり、講習会にも参加したり、様々なことを経験して、もっと味わい深い音楽が奏でられるように学び続けたいと考えています。聴いてくださる方々と演奏を通して思いを共有し、奏者にとっていちばん大切な使命である、曲の芸術的魅力を最大限に伝えられるピアニストになりたいと思っています。

追記：今回は、竹田さんの恩師である東海林令也子先生のご自宅レッスン室でインタビューさせていただきました。

## 事業紹介

## 令和3年度 文教アートウエイブ

文教アートウエイブとは、地域文化の振興を図ることを目的に、地域で活躍する芸術文化団体に舞台発表の場を提供する文教会館自主事業です。今年も感動のひとときをお届けします



## 今後の公演予定



第95回 文教  
アートウエイブの様子  
令和3年6月19日

- |  |              |
|--|--------------|
| ◆松田薫子ミニピアノミニリサイタル<br>令和3年 8月29日(日) 開演14:00           | ◇入場：一般1,000円 |
| ◆金沢桜丘高校吹奏楽部クリスマスコンサート<br>令和3年12月19日(日) 開演17:30       | ◇入場：無料       |
| ◆石川県立金沢伏見高等学校文化部発表会<br>令和4年 3月19日(土) 開演14:00         | ◇入場：無料       |
| ◆石川県立金沢辰巳丘高等学校合唱部・吹奏学部合同演奏会<br>令和4年 3月20日(日) 開演17:00 | ◇入場：一般700円   |
| ◆石川県立金沢泉丘高等学校合唱部 第12回定期演奏会<br>令和4年 3月26日(土) 開演14:00  | ◇入場：一般500円   |
| ◆石川県立金沢向陽高等学校・津幡高等学校合同バンド<br>令和4年 3月28日(月) 開演14:00   | ◇入場：一般500円   |



金沢高等学校吹奏楽部  
サマーコンサート

## 令和4年度の文教アートウエイブ公演募集

文教アートウエイブ事業では、地域文化の振興を図ることを目的に、演劇や演奏会等の公演を希望される方に**利用料と冷暖房費を無料**でホールをお貸します。(照明設備費・舞台技術費等有料)

**利用期間**：令和4年9月・10月・11月・12月以外の月(リハーサルを含み3日間を上限)

**申込期間**：令和3年5月1日(土)～9月30日(木)

**申込方法**：「文教アートウエイブ申込書」に必要事項を記入の上、文教会館事業課までFAXまたは郵送

※申込は当館へ事前にお問い合わせの上、ご提出ください。詳しくは文教会館HPで確認いただくか、お電話にてお問い合わせください。

TEL (076) 262-7311

**小・中学校の成果発表会にもご利用ください!**

## 令和3年度 教育資料収集整理事業

当財団では、県内に存在する貴重な教育資料を収集し、保管や展示を行っています。教育文献・教育物具等、収集数は5万点を数えます。これらの教育資料は当館の資料展示室や物具室で閲覧することができます(要予約)。蔵書リストは当館ホームページよりダウンロードできます。



資料展示室

## \*高等学校の刊行物の閲覧が出来ます\*

中学校での社会見学や金沢自主プラン計画に、文教会館所蔵の高等学校の刊行物の閲覧を取り入れてみてはいかがでしょうか。昼食会場として会議室をご利用いただき、高校進学の手引きに役立ててください。



物具室

## 教育ウイーク関連行事

入場無料

「教育史セミナー」  
日時 11/5(金) 14:30～  
演題 「学校に関する資料の収集・保存と教育史研究」  
講師 鳥居 和代 氏  
金沢大学 人間社会学域  
学校教育学類 教授

「第227回教育資料ロビー展」  
文教会館所蔵  
教材・教具の変遷  
～変わりゆく学びの道具～  
期間 11/1(月)～11/7(日)

## 教育資料ロビー展 開催中!

「特色ある学校の活動」として、県内高等学校の取り組みの様子を展示しています。YouTubeでの発信も行っていますので、ぜひご覧ください!

## 事業紹介

## 2021年度 文教国際理解講座

～ネイティブスピーカーと一緒に  
異文化を学びませんか?～

アメリカ出身のネイティブスピーカーの指導で、言葉や文化を学べます。  
定員に空きのある講座には途中入会ができます。文教会館までお気軽にお問い合わせください。

実施期間：2021年6月～2022年3月

対象：一般 教職員 高校生

定員：1講座 20名程度

受講料：年額36,000円(年35回)(教材は実費負担)

※途中入会の方の受講料は入会後の回数分となります。



文教国際理解講座

Q 検索

初級：あいさつ程度の会話ができる (英検3級程度)  
 準中級：英語で簡単なコミュニケーションができる (英検準2級程度)  
 中級：英語でコミュニケーションができる (英検2級程度)  
 上級：日本語同様に会話ができる (英検準1級程度)

☆ホームページから募集要項等をご覧いただけます。

## 第34回 いしかわ県民陶芸展

## アマチュア陶芸作品 大募集!

## 第33回 いしかわ県民陶芸大賞

[カ]

奥村 季花  
(石川県立工業高等学校)



県内のアマチュア陶芸愛好家の皆様、作品の創作・展示・鑑賞を通して、陶芸の楽しさや豊かさを発見しませんか。

石川県にお住まいの方ならどなたでも応募できます。初心者の方も大歓迎です。小さなお子様からご高齢の皆様まで、ぜひ、ふるって作品をお寄せください。お寄せいただいたすべての作品を展示します。どうぞ、発表の場としてご活用ください。



## 作品応募について

審査会の様子

**作品規定** ・未発表の自作品 (1人1作品のみ)  
 ・一辺が50cm以内、縦横高さの合計が120cm以内  
 ・団体作品は、展示時に90cm×90cmの範囲内

**受付日時** 令和4年1月9日(日) 10:00～15:00

**受付場所** 石川県文教会館

**出品料** 一般:2,000円、青少年(20歳未満):無料

**審査員** 浅蔵五十吉 飯田雪峰 11代大樋長左衛門(五十音順・敬称略)



作品展示の様子



応募要項・応募票は、石川県文教会館にあります。  
また、当館のホームページからもダウンロードできます。

<http://www.bunkyo.or.jp/>

## 作品展示について

**展示期間** 令和4年1月15日(土)～23日(日)  
9:00～16:30 (最終日は15:00まで)

**展示会場** 石川県文教会館

**表彰式** 令和4年1月16日(日) 13:30～15:10 石川県文教会館  
 ◇賞状授与：大賞、石川県教育委員会賞、理事長賞等  
 ◇審査員による講評・作品解説

**その他** 展示期間中、入場者の投票による「わたしの選んだ一点賞」を実施します。投票された方には抽選で記念品を贈呈します。

主催：公益財団法人石川県文教会館  
 後援：石川県、金沢市、石川県教育委員会、北國新聞社、NHK金沢放送局、MRO北陸放送、テレビ金沢、エフエム石川、ラジオかなざわ、ラジオこまつ、ラジオななお、FM-N1

施設紹介

文教会館の施設ご利用について — 教育文化の発信に 研修・会議・交流の場 —

新型コロナウイルス感染予防策として、来館者にマスクの着用を求めるほか、手指消毒用アルコールの設置、非接触型体温計の貸出し、ドアノブ・手すり等こまめに消毒液による清掃を実施しています。

研修や会議、交流の場としてご利用ください。一般の方もご利用いただけます。お気軽にお問い合わせください。

各種演奏、ご公演などに適した音響・照明完備のホールです。(590席)



土・日曜日にホールを1日(9時~17時)利用して、照明代冷暖房費用を含めて10万円以下でご利用できます。  
※楽屋及びリハーサル室のご利用は無料です。

少人数の打合せから研修・講演会まで、用途やご利用人数に合わせて、様々な大きさ・タイプの会議室をご用意しています。



様々な用途にお使いいただける和室のほか、茶室や応接室もあります。



Wi-Fi 機器の設置について



大会議室、和室大会議室など、ほとんどの会議室にWi-Fi機器を設置いたしました。ZOOMなどのアプリを利用したりリモート会議を無料にご利用いただけます。プロジェクター(スクリーン付き、税込み2,200円)と組み合わせてもご利用いただけます。

★和室大会議室★

中庭の見える和風の会議室 (スクール形式 約30名 使用可)



9時~12時まで利用して、8,490円です。

カーペット敷の大和室が新たに会議室に仲間入り(旧409会議室と旧410会議室)。

喫茶コーナー「エース」よりお知らせ

～セール開催中～

5人以上で会議室をご利用の際は、5杯以上のご注文で、ホットコーヒー・アイスコーヒーを、それぞれ1杯あたり**200円(税込み)**で提供させていただきます。(土曜、日曜、祝日を除く) スタッフ一同ご注文をお待ちしております。



ビーフカレーセット  
食後のコーヒー付き  
650円



喫茶コーナー「エース」ではコーヒー、紅茶など各種お飲み物や、トースト、ピラフ、パスタ、カレーライス、カレーうどんなど軽食をご用意しております。コロナ対策にアクリル板も設置しております。

トースト 210円  
カレー 390円  
ピラフ 360円  
カレーうどん 360円  
パスタ 360円

当館ホームページで詳細をご覧ください。街なかのオアシス「文教会館」をぜひご利用ください。

